

IR室 業務ガイドライン

1. 目的

このガイドラインは、本学の教育理念に基づき実施される教育に対して、より充実した教育環境の実現のために、本学の教育の取り組みに対する様々な資料やアンケート等の情報を客観的に分析・解釈し、今後の教育改善に資するためのものである。そしてこの目的のために設置された IR 室の本学における役割とその使命を明確にし、より円滑な業務遂行のために設ける。

2. IR による評価・分析の範囲

IR による評価・分析の範囲については以下のように定め、各部署と協力して情報分析し、今後の教育改善につながる情報提供を行う。

- (1) 本学を受験した学生と本学に入学した学生の特徴を明らかにするための評価・分析
- (2) 学業に成果を上げている本学の学生の特徴を明らかにするための評価・分析
- (3) 本学に入学し、学業・課外活動など学生生活における学生の満足度を明らかにするための評価・分析
- (4) 本学における進学者の特徴、および就職活動をする学生の特徴を明らかにするための評価・分析

この評価・分析の詳細な内容については別表に示す。

3. IR による評価・分析の実施方法

上記 2. で定めた評価・分析について、本学の学生を対象としたアンケートを以下の予定で実施し、分析結果については適宜関係する部署（委員会等）に報告し、教育改善が図れるデータの提出を行う。また、単純集計した結果については、グループウェア等を通じて全教職員に周知する。

実施アンケート一覧

アンケート	実施時期	対象	内容
入学生アンケート	入学直後	新入生	記名式 / 紙で実施
IR コンソ一年生調査	秋 (10 月頃)	1 年次生	記名式 / 紙で実施
IR コンソ上級生調査	秋 (10 月頃)	2, 3 年次生	記名式 / 紙で実施
卒業生アンケート	卒業式後	卒業生	記名式 / 紙で実施
授業アンケート	各授業の最終回、 もしくは 14 回目	全学生 (院含む)	記名式 / WEB で実施

4. 各種アンケートの取扱

- (1) IR 室が実施する各種アンケートの結果は、本ガイドラインの「1.目的」に準じ、大学全体の教育環境の改善を目的とした使用に限定する。
- (2) 記名式アンケートの結果については、IR 室長が指名する IR 室の集計担当者のみが個人情報（学籍番号等）を含む結果にアクセスすることができる。どのような理由があっても、学籍番号・氏名等個人を特定可能な状態でのアンケート結果の開示は行わない。
(※個人を特定した教務的な利用（成績判定、個人指導など）への情報提供は行わない。)
- (3) 各種アンケートの実施目的、データの活用範囲を実施対象者（学生）に明示した上で、アンケートを実施する。
- (4) 授業アンケートは教務委員会と連携して実施し、IR 室では単純集計のみ行う。

5. IR による評価・分析に必要な情報収集に関する指針

評価・分析を行うために必要な情報を収集する際の IR 担当者の行動基準を以下に定める。

- (1) 協力依頼する教員または各事務局職員に対して、「情報収集の目的」、「情報の基準日」、「提出期限」を明確にした上で、情報収集を行うこと。
- (2) 学校基本調査等のフォーマットに則って作成されたデータを活用する場合、各事務局が入力した「数値の定義」を明確にすること。定義があいまいな場合は、事務局と協議の上「定義」を明確にした上で情報を収集すること。

- (3) 外部評価機関（大学基準協会・JABEE 等）に提出するために必要な情報収集は、担当部署からの依頼があった場合において、足りない情報を収集し報告書作成の支援を行う。

6. IR における評価・分析結果報告書作成の指針

- (1) 用語の定義や意味を明確にした上での記述を行う。
- (2) 報告書は目的を意識した記述を心がける。計画や目標の進捗状況の説明の場合、成果や現状を中心に記述を行う。
- (3) 計画や目標を策定した背景（どのような問題意識がきっかけで、具体的に何を改善する為なのか）を確認し、教育効果や今後の示唆につながる記述を行う。
- (4) 実施した施策の効果については、事前に関係部局から効果予測をしてもらい、その予測を参考に実施前の状況が実施後どのようになったかを記述する。
- (5) 評価・分析に使用する定量情報は、経年変化を出来る限り追い、経年変化を加味した記述を行う。
- (6) 評価・分析に使用する定量情報は、「定義」や「計算式」を明確にする。
- (7) 臨時に追加アンケートを実施する場合は、関係部局と協議した上で、評価・分析が可能であるか確認した上で実施する。
- (8) 報告書を記述するための根拠資料だけでなく、他の情報源からも記述内容を補完検証するよう心がける。
- (9) 複数の情報から特定の事象について記述をする場合、どの情報がその事象を表す情報で、どれが補完的な情報なのかを整理した上で記述を行う。